

ユーザーズガイド

～Windowsセットアップ編～

HA8000/RS220 AN1/BN1

HA8000/RS210 AN1/BN1

HA8000

2015年4月～モデル

マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

登録商標・商標

HITACHI は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行

2015 年 4 月（初版）（廃版）

2016 年 4 月（第 3 版）

版權

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright © 2015, 2016, Hitachi, Ltd.

お知らせ

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。
なお、保証と責任については保証書裏面の「保証規定」をお読みください。

システム装置の信頼性について

ご購入いただきましたシステム装置は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は意図されていませんし、保証もされていません。このような高信頼性を要求される用途へは使用しないでください。

高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

・化学プラント制御 ・医療機器制御 ・緊急連絡制御など

規制・対策などについて

□ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

□ 電源の瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

□ 高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 — 第 3-2 部：限度値 — 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

□ 雑音耐力について

本製品の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。

なお、レベル 2 とは、対象となる装置に近づけないで使用されている低出力の携帯型トランシーバから受ける程度の電磁環境です。

□ 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お買い求め先にお問い合わせください。

また、本製品に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いとなります。

□ 海外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

なお、他国には各々の国で必要となる法律、規格などが定められており、本製品は適合していません。

□ システム装置の廃棄について

事業者が廃棄する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。産業廃棄物管理票は（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

個人が廃棄する場合、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

また、システム装置内の電池を廃棄する場合もお買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

システム装置を譲渡あるいは廃棄するときには、ハードディスク／SSD の重要なデータ内容を消去する必要があります。

ハードディスク／SSD 内に書き込まれた「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化（フォーマット）する
- OS を再インストールする

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク／SSD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけです。つまり、一見消去されたように見えますが、OS のもとでそれらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけであり、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがって、データ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、システム装置のハードディスク／SSD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

ハードディスク／SSD 上の重要なデータの流出を回避するため、システム装置を譲渡あるいは廃棄をする前に、ハードディスク／SSD に記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク／SSD を金づちや強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読みなくすることをお勧めします。

なお、ハードディスク／SSD 上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくシステム装置を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

はじめに

このたびは日立のシステム装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、次のオペレーティングシステム（OS）のセットアップに関する情報を記載しています。

- Microsoft® Windows Server® 2012 R2
- Microsoft® Windows Server® 2012
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2

なお、OS の新規・再セットアップ手順および、OS を使用するうえでの注意事項・制限事項は、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』に記載しています。こちらのマニュアルもあわせてご参照ください。



マニュアルの表記

このマニュアルの表記ルールについて説明します。

なお、マニュアルで説明している画面やイラストは一例であり、またマニュアル制作時点のものです。製品や製品の出荷時期により異なる場合があります。

□ マニュアル内の記号

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

通知	これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。
	システム装置の故障や障害の発生を防止し、正常に動作させるための事項を示します。
	システム装置を活用するためのアドバイスを示します。

□ システム装置の表記

このマニュアルでは、システム装置を装置と略して表記することがあります。

また、システム装置を区別する場合には次のモデル名で表記します。

- RS220 AN1/BN1 モデル
- RS210 AN1/BN1 モデル

システム装置のモデルを省略して

- RS220 xN1 モデル
- RS210 xN1 モデル

と表記することもあります。

□ オペレーティングシステム（OS）の略称について

このマニュアルでは、次の OS 名称を省略して表記します。

- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2012 R2 Standard または Windows Server 2012 R2、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter 日本語版
(以下 Windows Server 2012 R2 Datacenter または Windows Server 2012 R2、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2012 Standard または Windows Server 2012、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter 日本語版
(以下 Windows Server 2012 Datacenter または Windows Server 2012、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Standard または Windows Server 2008 R2、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Enterprise または Windows Server 2008 R2、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Datacenter または Windows Server 2008 R2、Windows)

次のとおり、省略した「OS 表記」は、「対象 OS」中のすべてまたは一部を表すときに用います。

OS 表記	対象 OS
Windows Server 2012 R2 Standard *1	・ Windows Server 2012 R2 Standard *1
Windows Server 2012 R2 Datacenter *1	・ Windows Server 2012 R2 Datacenter *1
Windows Server 2012 R2 *1	・ Windows Server 2012 R2 Standard *1 ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter *1
Windows Server 2012 Standard *1	・ Windows Server 2012 Standard *1
Windows Server 2012 Datacenter *1	・ Windows Server 2012 Datacenter *1
Windows Server 2012 *1	・ Windows Server 2012 Standard *1 ・ Windows Server 2012 Datacenter *1
Windows Server 2008 R2 Standard *1	・ Windows Server 2008 R2 Standard *1
Windows Server 2008 R2 Enterprise *1	・ Windows Server 2008 R2 Enterprise *1
Windows Server 2008 R2 Datacenter *1	・ Windows Server 2008 R2 Datacenter *1
Windows Server 2008 R2 *1	・ Windows Server 2008 R2 Standard *1 ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise *1 ・ Windows Server 2008 R2 Datacenter *1
Windows	・ Windows Server 2012 R2 Standard *1 ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter *1 ・ Windows Server 2012 Standard *1 ・ Windows Server 2012 Datacenter *1 ・ Windows Server 2008 R2 Standard *1 ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise *1 ・ Windows Server 2008 R2 Datacenter *1

*1 64bit 版のみ提供されます。

また、Windows の Service Pack についても SP と表記します。

□ 略語・用語

マニュアルやユーティリティ、Web コンソールなどで使用している略語と用語は次のとおりです。

略語・用語	説明
BIOS	Basic Input/Output System
BMC	Baseboard Management Controller (システム装置のハードウェア監視機能を提供する管理用コントローラ)
CPU	Central Processing Unit
DIMM	Dual Inline Memory Module (メモリーボード)
EFI	Extensible Firmware Interface (BIOS を代替する、OS とファームウェアのインタフェース仕様)
FCB	Front Connector Board (システム装置前面のコネクタ／ランプ／ボタンを搭載するボード)
FRU	Field Replaceable Unit (フィールド交換可能ユニット)
HDDBP	HDD Back Plane (ハードディスク／SSD と接続するコネクタを搭載するボード)
IPMI	Intelligent Platform Management Interface (システムや OS に依存することなく、システム装置のハードウェアを監視するための標準インタフェース仕様)
KVM	Keyboard、Video、Mouse
MB	Mother Board (マザーボード)
MC	Management Controller (BMC や ME などの総称)
ME	Management Engine (システム装置の電力管理を行うチップ)
NMI	Non-Maskable Interrupt (マスク不可能なハードウェア割り込み)
PCI	Peripheral Component Interconnect/Interface
PCIe	PCI Express
PROC	PROCeSSor (プロセッサ、CPU)
PSU	Power Supply Unit (電源ユニット)
SDR	Sensor Data Record (ファームウェアがハードウェア監視に使用するセンサデータ)
SEL	System Event Log (システム装置のイベントログ情報)
SPI Mezzanine	MB に実装する拡張カード
UEFI	Unified EFI
Web コンソール	HTTP/HTTPS プロトコル経由で BMC によるリモートマネジメントを利用するための Web ブラウザと、リモートマネジメント制御を行うためのコンテンツ
リモート KVM	システム装置のローカルコンソールを、ネットワークを介してリモート端末 (管理 PC) の Web ブラウザに表示する機能
リモートメディア	リモート端末に接続されている CD/DVD ドライブ、フロッピーディスクドライブ、ISO イメージファイル、USB メモリーを、システム装置に仮想ドライブとして認識させる機能
リモートマネジメント拡張ライセンス	リモート KVM / リモートメディア機能を使用するために必要なライセンス

ドライバ・ユーティリティなどの適用について

最新のドライバやユーティリティ、BIOS、ファームウェア アップデートプログラムを「HA8000 ホームページ」で提供しております。

■ ホームページアドレス：<http://www.hitachi.co.jp/ha8000/>

各アップデートプログラムの適用についてはお客様責任にて実施していただきますが、システム装置を安全にお使いいただくためにも、ホームページの「ダウンロード」タブをクリックした「ダウンロード」ページにある「ドライバ・ユーティリティ新着情報」を定期的にアクセスして、最新のドライバやユーティリティ、BIOS、ファームウェアへ更新いただくことをお勧めします。

なお、「Hitachi Server Navigator」を適用することにより、最新版ドライバの有無を確認し、ダウンロードおよびアップデートを実施することが可能です。（BIOS とファームウェアを除く）

使いかたの詳細は『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される「Hitachi Server Navigator」のマニュアルをご参照ください。

また、お客様による BIOS、ファームウェア アップデート作業が困難な場合は、有償でアップデート作業を代行するサービスをご提供いたします。詳細はお問い合わせ先にお問い合わせください。

『Hitachi Server Navigator』 DVD の対象バージョン

システム装置に添付される『Hitachi Server Navigator』DVD は、OS の新規・再インストール時に使用するインストーラやドライバ、ユーティリティが格納されています。

『Hitachi Server Navigator』DVD は次の条件を満たすものをお使いください。

- バージョン：「03-30」以降のもの
- DVD の使用対象モデルとしてシステム装置が明記されているもの

『Hitachi Server Navigator』DVD のバージョンはレーベルに表示されています。また、『Hitachi Server Navigator』DVD の使用対象モデルは、DVD の Support.html に記載されています。



適合しないバージョンや、対象モデルではないバージョンの『Hitachi Server Navigator』DVD は使用できません。



複数のバージョンの『Hitachi Server Navigator』DVD が添付される場合、最新のバージョンをお使いください。

使いかたの詳細は、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される「Hitachi Server Navigator」のマニュアルをご参照ください。

サポート OS

システム装置がサポートしている Windows OS は次のとおりです。

対象 OS	サポートしているシステム装置
Windows Server 2012 R2 Standard	RS220 xN1、RS210 xN1
Windows Server 2012 R2 Datacenter	RS220 xN1、RS210 xN1
Windows Server 2012 Standard	RS220 xN1、RS210 xN1
Windows Server 2012 Datacenter	RS220 xN1、RS210 xN1
Windows Server 2008 R2 Standard + SP1	RS220 xN1、RS210 xN1
Windows Server 2008 R2 Enterprise + SP1	RS220 xN1、RS210 xN1
Windows Server 2008 R2 Datacenter + SP1	RS220 xN1、RS210 xN1

技術支援サービス

ハードウェアや OS、ソフトウェアの技術的なお問い合わせについては、「技術支援サービス」による有償サポートとなります。

▶ 総合サポートサービス「日立サポート 360」

ハードウェアと Windows や Linux など OS を一体化したサポートサービスをご提供いたします。詳細は次の URL で紹介しています。

■ ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/>

インストールや運用時のお問い合わせや問題解決など、システムの円滑な運用のためにサービスのご契約をお勧めします。

▶ HA8000 問題切分支援・情報提供サービス

ハードウェアとソフトウェアの問題切り分け支援により、システム管理者の負担を軽減します。詳細は次の URL で紹介しています。

■ ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/soft/HA8000/>

運用時の問題解決をスムーズに行うためにサービスのご契約をお勧めします。

なお、本サービスには OS の技術支援サービスは含まれません。OS の技術支援サービスを必要とされる場合は「日立サポート 360」のご契約をお勧めします。

安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



警告

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

通知

これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



【表記例 1】 感電注意

▲の図記号は注意していただきたいことを示し、▲の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】 分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

なお、⊘の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例 3】 電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

なお、❗は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これらを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

本マニュアル内の警告表示

警告

本マニュアル内にはありません。

注意

本マニュアル内にはありません。

通知

再セットアップについて

セットアップしなおすと、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは事前にバックアップをお取りください。

『関連ページ』 → [P.4](#)

目次

登録商標・商標	ii
発行	ii
著作権	ii
お知らせ	iii
重要なお知らせ	iii
システム装置の信頼性について	iii
規制・対策などについて	iii
システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	v
はじめに	vi
マニュアルの表記	vi
ドライバ・ユーティリティなどの適用について	ix
『Hitachi Server Navigator』DVD の対象バージョン	ix
サポート OS	x
技術支援サービス	x
安全にお使いいただくために	xi
本マニュアル内の警告表示	xii
目次	xiii
1 セットアップの概要	1
1.1 プレインストールモデル	2
1.2 インストール代行サービス付モデル	3
1.3 新規・再セットアップ	4
1.4 セットアップに必要なメディア	5
1.4.1 プレインストールモデル	5
1.4.2 インストール代行サービス付モデル	5
1.4.3 新規・再セットアップ	6
2 プレインストールモデルのセットアップ	9
2.1 Windows Server 2012 R2 の場合	10
2.1.1 セットアップ時の制限	10
2.1.2 Windows Server 2012 R2 をセットアップする	11
2.2 Windows Server 2012 の場合	13
2.2.1 セットアップ時の制限	13
2.2.2 Windows Server 2012 をセットアップする	14
3 インストール代行サービス付モデルのセットアップ	17

3.1	Windows Server 2008 R2 の場合	18
3.1.1	セットアップ時の制限	18
3.1.2	Windows Server 2008 R2 をセットアップする	19
4	新規・再セットアップ	21
4.1	OS の新規および再セットアップ方法の参照先	22
付録 A	Windows のサポート情報	23
A.1	Windows 情報の提供サイト	24
A.2	Windows 使用上の制限事項	25
A.3	サポートする Windows Server ファミリ	26
A.4	COA (Certificate of Authenticity)	27
A.5	付属ソフトウェア	28
A.6	Windows 使用時の補足情報	29
索引	30

1

セットアップの概要

この章では、Windows セットアップの概要と、セットアップに必要なメディアについて説明します。

1.1 プレインストールモデル	2
1.2 インストール代行サービス付モデル	3
1.3 新規・再セットアップ	4
1.4 セットアップに必要なメディア	5

1.1 プレインストールモデル

プレインストールモデルは、工場出荷時にあらかじめ OS インストールファイルが内蔵ディスクに格納されます。ディスクパーティション設定などの準備や OS インストールファイルのコピーなどの手間を省くことができ、OS のセットアップ時間を短縮することができます。

また、ご購入時に「OS カスタムセットアップサービス」で設定項目を指定いただいた場合、ディスクパーティションサイズやコンピュータ名などがカスタマイズされています。

プレインストールモデルの対象 OS は次のとおりです。

- Windows Server 2012 R2 Standard
- Windows Server 2012 Standard

プレインストールモデルは、はじめにシステム装置の電源を入れると OS のセットアップが開始されます。



- プレインストールモデルには、プレインストールされるWindowsが正規のMicrosoftソフトウェアであることを示す COA (Certificate of Authenticity) ラベルがシステム装置に貼り付けられています。
→ [「A.4 COA \(Certificate of Authenticity\)」 P.27](#)
- RS220 BN1、RS210 BN1 モデルは内蔵ディスクレスモデルです。
内蔵ディスクが搭載できないため、プレインストールモデルの設定はありません。

1.2 インストール代行サービス付モデル

インストール代行サービス付モデルは、Windows Server 2012 R2 のダウングレード権に基づき Windows Server 2008 R2 をお客様に代わりインストールしたモデルです。ディスクパーティション設定などの準備や OS インストールファイルのコピーなどの手間を省くことができ、OS のセットアップ時間を短縮することができます。

また、ご購入時に「OS カスタムセットアップサービス」で設定項目を指定いただいた場合、ディスクパーティションサイズやコンピュータ名などがカスタマイズされています。

インストール代行サービス付モデルの対象 OS は次のとおりです。

- Windows Server 2008 R2 Standard
(Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデルからダウングレード)
- Windows Server 2008 R2 Enterprise
(Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデル + Additional ライセンスからダウングレード)

インストール代行サービス付モデルは、はじめにシステム装置の電源を入れると OS のセットアップが開始されます。

…
補足

- Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）には、プレインストール対象の Windows が正規の Microsoft ソフトウェアであることを示す COA (Certificate of Authenticity) ラベルがシステム装置に貼り付けられています。
→ [\[A.4 COA \(Certificate of Authenticity\)\] P.27](#)
- RS220 BN1、RS210 BN1 モデルは内蔵ディスクレスモデルです。内蔵ディスクが搭載できないため、インストール代行サービス付モデルの設定はありません。

1.3 新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは、『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを用いて、内蔵ディスクまたは外付けディスク（RS220 BN1、RS210 BN1 モデルのみ）にインストールします。

次の Windows バンドルモデルは OS がプレインストールされていないため、新規セットアップが必要です。

- Windows Server 2012 R2 Datacenter バンドルモデル
- Windows Server 2012 R2 Standard バンドルモデル
- Windows Server 2012 Datacenter バンドルモデル
- Windows Server 2012 Standard バンドルモデル

再セットアップは、ディスクパーティションの設定変更を行ったり、障害が発生した OS の修復ができなかったりした場合などに行います。

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

通知

セットアップしなすと、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは事前にバックアップをお取りください。

… 補足

- Windows プレインストールモデルは一部修正プログラムを含んで出荷します。Windows の再セットアップを行っても修正プログラムはインストールされないため、厳密にはプレインストールの状態に戻りません。『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』を参照し、Windows セットアップ後に修正プログラムのインストールを行ってください。
- RS220 BN1、RS210 BN1 モデルは内蔵ディスクレスモデルです。内蔵ディスクは搭載できません。このモデルを SAN ブート環境で使用する場合、Fibre Channel ボードから外付けのディスクアレイ装置に接続し、ターゲット LU（論理ドライブ）を設定して OS をインストールします。SAN ブートの詳細については『ユーザーズガイド ～ SAN ブート編～』をご参照ください。
- バンドルモデルには、添付される Windows が正規の Microsoft ソフトウェアであることを示す COA（Certificate of Authenticity）ラベルがシステム装置に貼り付けられています。
→ [「A.4 COA（Certificate of Authenticity）」 P.27](#)

1.4 セットアップに必要なメディア

Windows のセットアップを行うには、インストールメディアやインストールツールが必要です。

1.4.1 プレインストールモデル

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶ 『Hitachi Server Navigator』 DVD

必要となる『Hitachi Server Navigator』の条件は、[『Hitachi Server Navigator』DVD の対象バージョン P.ix](#) をご参照ください。

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデル付属の『サーバインストール DVD-ROM Windows Server® 2012 R2 Standard Disc1 (Ver 1.0)』DVD-ROM
Windows Server 2012 Standard	Windows Server 2012 Standard プレインストールモデル付属の『サーバインストール DVD-ROM Windows Server® 2012 Standard Disc1 (Ver 1.0)』DVD-ROM

1.4.2 インストール代行サービス付モデル

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）のセットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶ 『Hitachi Server Navigator』 DVD

必要となる『Hitachi Server Navigator』の条件は、[『Hitachi Server Navigator』DVD の対象バージョン P.ix](#) をご参照ください。

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Standard 用『Microsoft® Windows Server 2008 R2』DVD-ROM *1
Windows Server 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Enterprise 用『Microsoft® Windows Server 2008 R2』DVD-ROM *1

*1：SP1 適用済みメディア（スリップストリームメディア）です。

また、インストール時ライセンス認証を行う必要があります。Windows® メディアキットに添付される Physical Key(Product Key) / Virtual Key をお使いください。

1.4.3 新規・再セットアップ

新規・再セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶『Hitachi Server Navigator』 DVD

必要となる『Hitachi Server Navigator』の条件は、[「『Hitachi Server Navigator』 DVD の対象バージョン」 P.ix](#) をご参照ください。

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデル / バンドルモデル 付属の 『サーバイnstall DVD-ROM Windows Server® 2012 R2 Standard Disc1 (Ver 1.0)』 DVD-ROM
	リテール版またはボリュームライセンス提供の 『「Windows Server® 2012 R2」 Standard』 DVD-ROM
Windows Server 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2 Datacenter バンドルモデル付属の 『サーバイnstall DVD-ROM Windows Server® 2012 R2 Datacenter Disc1 (Ver 1.0)』 DVD-ROM
	ボリュームライセンス提供の 『「Windows Server® 2012 R2」 Datacenter』 DVD-ROM
Windows Server 2012 Standard	Windows Server 2012 Standard プレインストールモデル / バンドルモデル付属の 『サーバイnstall DVD-ROM Windows Server® 2012 Standard Disc1 (Ver 1.0)』 DVD-ROM
	Windows® メディアキット（ダウングレード / ダウンエディション OS） （GQS-CSW12SEX）の 『Microsoft® Windows Server 2012』 DVD-ROM *1
	リテール版またはボリュームライセンス提供の 『「Windows Server® 2012」 Standard』 DVD-ROM
Windows Server 2012 Datacenter	Windows Server 2012 Datacenter バンドルモデル付属の 『サーバイnstall DVD-ROM Windows Server® 2012 Datacenter Disc1 (Ver 1.0)』 DVD-ROM
	Windows® メディアキット（ダウングレード / ダウンエディション OS） （GQS-CSW12DEX）の 『Microsoft® Windows Server 2012』 DVD-ROM *1
	ボリュームライセンス提供の 『「Windows Server® 2012」 Datacenter』 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス 付モデル） 付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Standard 用 『Microsoft® Windows Server 2008 R2』 DVD-ROM *2
	Windows® メディアキット（ダウングレード / ダウンエディション OS） （GQS-CSW08R2SEX）の 『Microsoft® Windows Server 2008 R2』 DVD-ROM *2
	リテール版またはボリュームライセンス提供の 『「Microsoft® Windows Server 2008 R2」 Standard』 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス 付モデル） 付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Enterprise 用 『Microsoft® Windows Server 2008 R2』 DVD-ROM *2
	Windows® メディアキット（ダウングレード / ダウンエディション OS） （GQS-CSW08R2EEX）の 『Microsoft® Windows Server 2008 R2』 DVD-ROM *2
	リテール版またはボリュームライセンス提供の 『「Microsoft® Windows Server 2008 R2」 Enterprise』 DVD-ROM

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Datacenter	Windows® メディアキット（ダウングレード / ダウンエディション OS） （GQS-CSW08R2DEX）の 『Microsoft® Windows Server 2008 R2』 DVD-ROM *2
	ボリュームライセンス提供の 『「Microsoft® Windows Server 2008 R2」 Datacenter』 DVD-ROM

- *1 インストール時ライセンス認証を行う必要があります。WindowsR メディアキットに添付される ProductKey をお使いください。
- *2 SP1 適用済みメディア（スリップストリームメディア）です。
また、インストール時ライセンス認証を行う必要があります。Windows® メディアキットに添付される Physical Key（ProductKey） / Virtual Key をお使いください。

[illegible]

2

プレインストールモデルのセットアップ

この章では、プレインストールモデルのセットアップ時の制限とセットアップ手順について説明します。

2.1 Windows Server 2012 R2 の場合	10
2.2 Windows Server 2012 の場合	13

2.1 Windows Server 2012 R2 の場合

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルのセットアップ時の制限と、セットアップ手順について説明します。

2.1.1 セットアップ時の制限

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルのセットアップ時は、次の事項に注意してください。

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。

また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

- システム BIOS のブートモード

Windows Server 2012 R2を使用する場合、システムBIOSのブートモードはUEFI(Unified Extensible Firmware Interface) ブートモードのみサポートしています。レガシー (Legacy) ブートモードは使用できません。

システム BIOS のブートモード設定は、『ユーザーズガイド ～ BIOS 編～』をご参照ください

- ブートパーティション

OS をインストールする論理ドライブ (ブートパーティション) は、GPT (GUID Partition Table) 形式でフォーマットされています。GPT 形式は、システム BIOS が UEFI ブートモードの場合に使用されます。

Windows Server 2012 R2 を使用する場合、システム装置はレガシーブートモードをサポートしていないため、MBR (Master Boot Record) 形式を使用することはできません。

2.1.2 Windows Server 2012 R2 をセットアップする

はじめて電源を投入したあと、しばらくして「ライセンス条項をお読みください」が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。

… 補足

設定手順の表示項目について
次の手順は、お客様がプレインストールでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。

- 1 内容を確認し問題なければ、[同意します] ボタンをクリックします。
「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。
- 2 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。
[完了] ボタンが押下可能になります。
- 3 [完了] ボタンをクリックします。
画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。
[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
- 4 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- 5 OS ログオンが完了したあとユーティリティの「License Agreement」ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。
ユーティリティのインストールが開始されます。

… 補足

- 「License Agreement」ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。
「License Agreement」ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
・ IT Report Utility
このユーティリティをあとからインストールする場合は、ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、「OS インストール処理を続行中」画面が表示されます。

- 6 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要のないユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

2.2 Windows Server 2012 の場合

Windows Server 2012 プレインストールモデルのセットアップ時の制限と、セットアップ手順について説明します。

2.2.1 セットアップ時の制限

Windows Server 2012 プレインストールモデルのセットアップ時は、次の事項に注意してください。

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。
また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

- システム BIOS のブートモード

Windows Server 2012 を使用する場合、システム BIOS のブートモードは UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブートモードのみサポートしています。レガシー (Legacy) ブートモードは使用できません。

システム BIOS のブートモード設定は、『ユーザズガイド ～ BIOS 編～』をご参照ください

- ブートパーティション

OS をインストールする論理ドライブ (ブートパーティション) は、GPT (GUID Partition Table) 形式でフォーマットされています。GPT 形式は、システム BIOS が UEFI ブートモードの場合に使用されます。

Windows Server 2012 を使用する場合、システム装置はレガシーブートモードをサポートしていないため、MBR (Master Boot Record) 形式を使用することはできません。

2.2.2 Windows Server 2012 をセットアップする

はじめて電源を投入したあと、しばらくして「ライセンス条項をお読みください」が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。

… 補足

設定手順の表示項目について

次の手順は、お客様がプレインストールでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。

- 1 内容を確認し問題なければ、「ライセンス条項に同意します」をチェックします。
[同意する] ボタンが押下可能になります。
- 2 [同意する] ボタンをクリックします。
「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。
- 3 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。
[完了] ボタンが押下可能になります。
- 4 [完了] ボタンをクリックします。
画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。
[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
- 5 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- 6 OS ログオンが完了したあとユーティリティの「License Agreement」ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。
ユーティリティのインストールが開始されます。

… 補足

- 「License Agreement」ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。「License Agreement」ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
・ IT Report Utility
このユーティリティをあとからインストールする場合は、ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、「OS インストール処理を続行中」画面が表示されます。

- 7 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2012 プレインストールモデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要のないユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

3

インストール代行サービス付モデル のセットアップ

この章では、インストール代行サービス付モデルのセットアップ時の制限とセットアップ手順について説明します。

3.1 Windows Server 2008 R2 の場合	18
--------------------------------------	----

3.1 Windows Server 2008 R2 の場合

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル）のセットアップ時の制限と、セットアップ手順について説明します。

3.1.1 セットアップ時の制限

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル）のセットアップ時は、次の事項に注意してください。

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。

また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

- システム BIOS のデフォルト値からの変更

Windows Server 2008 R2 を使用する場合、システム BIOS の設定をデフォルト値から変更する必要があります。なお、インストール代行サービス付モデルは、工場出荷時に設定は変更されています。システム BIOS の設定の詳細は、『ユーザーズガイド ～ BIOS 編～』をご参照ください。

- システム BIOS のブートモード

Windows Server 2008 R2 を使用する場合、システム BIOS のブートモードはレガシー (Legacy) ブートモードのみサポートしています。UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブートモードは使用できません。

システム BIOS のブートモード設定は、『ユーザーズガイド ～ BIOS 編～』をご参照ください。

- ブートパーティション

OS をインストールする論理ドライブ（ブートパーティション）は、MBR (Master Boot Record) 形式でフォーマットされています。MBR 形式は、システム BIOS がレガシーブートモードの場合に使用されます。

Windows Server 2008 R2 を使用する場合、システム装置は UEFI ブートモードをサポートしていないため、GPT (GUID Partition Table) 形式を使用することはできません。

3.1.2 Windows Server 2008 R2 をセットアップする

はじめて電源を投入したあと、しばらくして「ライセンス条項をお読みください」が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。

… 補足

- 設定手順の表示項目について
次の手順は、お客様がインストール代行サービスでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。
- Service Pack について
Windows Server 2008 R2 は、Service Pack 1 が適用された状態でインストールされます。

- 1 内容を確認し問題なければ、「ライセンス条項に同意します」をチェックします。
[同意する] ボタンが押下可能になります。
- 2 [同意する] ボタンをクリックします。
「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。
- 3 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。
[完了] ボタンが押下可能になります。
- 4 [完了] ボタンをクリックします。
画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。
[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
- 5 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- 6 OS ログオンが完了したあとユーティリティの「License Agreement」ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。
ユーティリティのインストールが開始されます。

… 補足

- 「License Agreement」ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。
「License Agreement」ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
・ IT Report Utility
このユーティリティをあとからインストールする場合は、ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、「OS インストール処理を続行中」画面が表示されます。

- 7 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要なユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

4

新規・再セットアップ

この章では、Windows を新規または再セットアップする場合の参照先について説明します。

4.1 OS の新規および再セットアップ方法の参照先	22
----------------------------------	----

4.1 OS の新規および再セットアップ方法の参照先

OS の新規・再セットアップは『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを使用して行います。

必要なドライバやユーティリティを漏れなくインストールするため、OS のセットアップには「Hitachi Server Navigator」の OS セットアップ機能（Installation Assistant）の使用をお勧めします。

セットアップの詳細については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。



OS のインストールやブートを行う場合、OS の種類によりシステム BIOS の設定値が決められています。OS によっては、デフォルトの値から変更する必要があります。システム BIOS の設定の詳細は、『ユーザズガイド ～ BIOS 編～』をご参照ください。



「Hitachi Server Navigator」の Installation Assistant を使用しない場合、手動で OS やドライバ、ユーティリティなどをインストールする必要があります。詳細については『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

A

付録 A Windows のサポート情報

A.1 Windows 情報の提供サイト	24
A.2 Windows 使用上の制限事項	25
A.3 サポートする Windows Server ファミリ	26
A.4 COA (Certificate of Authenticity)	27
A.5 付属ソフトウェア	28
A.6 Windows 使用時の補足情報	29

A.1 Windows 情報の提供サイト

日立のシステム装置の Windows サポートに関する情報は、次の Web サイトで紹介しています。

- 「Windows 情報」： http://www.hitachi.co.jp/products/it/windows_os/index.html

お使いになるシステム装置やミドルウェアのサポート状況、使用上の制限など、こちらでご確認ください。

A.2 Windows 使用上の制限事項

Windows 使用上の制限事項は、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』に記載しております。ご使用になる前にご一読ください。

A.3 サポートする Windows Server ファミリ

システム装置がサポートする Windows Server ファミリの種類および Service Pack(SP)は次のとおりです。

A.3.1 Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012

サポートする Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 ファミリの種類と SP は次のとおりです。

対象 OS	プロセッシング	サポートしている SP
Windows Server 2012 R2 Standard	64 ビット	SP なし
Windows Server 2012 R2 Datacenter		
Windows Server 2012 Standard	64 ビット	SP なし
Windows Server 2012 Datacenter		

A.3.2 Windows Server 2008 R2

サポートする Windows Server 2008 R2 ファミリの種類と SP は次のとおりです。

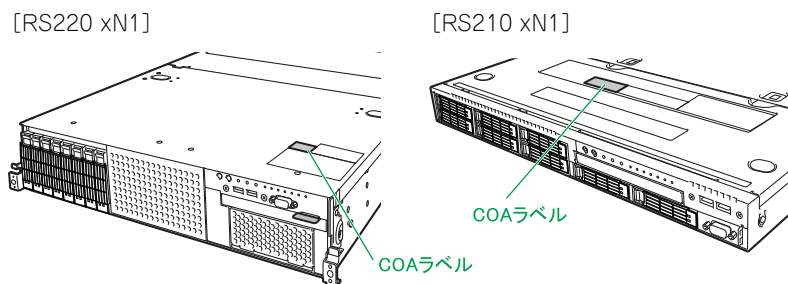
対象 OS	プロセッシング	サポートしている SP
Windows Server 2008 R2 Standard	64 ビット	SP1 *1
Windows Server 2008 R2 Enterprise		
Windows Server 2008 R2 Datacenter		

*1 SP を適用する必要があります。

A.4 COA (Certificate of Authenticity)

COA ラベルは、正規の Microsoft ソフトウェアを見分けるのに役立つラベルです。

プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデルを含む）およびバンドルモデルには、システム装置の次の箇所に、モデルに対応するエディションの COA ラベルが貼り付けられています。



なお、システム装置添付の『安全にお使いいただくために』に、COA ラベルに記載される Product Key のコピーが貼り付けられています。

… 補足

- Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル）の場合、システム装置には Windows Server 2012 R2 の COA ラベルが貼り付けられています。
- Windows Server 2008 R2 の Physical Key (Product Key) / Virtual Key は、添付される Windows® メディアキットに記載されています。

A.5 付属ソフトウェア

RAID 管理ツールなど、システム装置に付属するソフトウェアは『Hitachi Server Navigator』DVD に格納されています。

システム装置が必要とするソフトウェアについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

また、付属ソフトウェアの使いかたについては『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納されるマニュアルをご参照ください。

A.6 Windows 使用時の補足情報

ここでは、Windows を使用するうえでの補足情報について説明します。

A.6.1 標準搭載される LAN ポートの識別情報

システム装置に標準搭載される LAN 拡張カードの LAN ポートと、装置背面のネットワークインタフェースコネクタは、次のとおり対応しています。

システム装置	LAN 拡張カード	LAN コントローラ	ネットワークインタフェースコネクタ
RS220 xN1	CN7N0TEX / SCN7N0TREX (1G 4 ポート)	Broadcom BCM5719	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークインタフェースコネクタ 1 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 0 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 2 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 1 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 3 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 2 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 4 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 3
	CN7N0SEX / SCN7N0SREX / CN7N1SEX / SCN7N1SREX (10G 2 ポート +1G 2 ポート)	Broadcom BCM57800 +BCM54618SE	
RS210 xN1	CN7N0TEX / SCN7N0TREX (1G 4 ポート)	Broadcom BCM5719	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークインタフェースコネクタ 1 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 0 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 2 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 1 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 3 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 2 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 4 : PCI バス 5、デバイス 0、機能 3
	CN7N0SEX / SCN7N0SREX / CN7N1SEX / SCN7N1SREX (10G 2 ポート +1G 2 ポート)	Broadcom BCM57800 +BCM54618SE	

索引

■ C

COA (Certificate of Authenticity) [27](#)

■ H

Hitachi Server Navigator
バージョン [ix](#)

■ あ

安全に関する注意事項 [xi](#)

■ い

インストール代行サービス付モデルのセットアップ
Windows Server 2008 R2 [18](#)

■ き

規制・対策
高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品 [iii](#)
雑音耐力 [iv](#)
電源の瞬時電圧低下対策 [iii](#)
電波障害自主規制 [iii](#)
輸出規制 [iv](#)

■ し

システム装置
信頼性 [iii](#)
重要なお知らせ [iii](#)
商標 [ii](#)
新規・再セットアップ方法 [22](#)

■ せ

セットアップ概要
インストール代行サービス付モデル [3](#)
新規・再セットアップ [4](#)
必要なメディア [5](#)
プレインストールモデル [2](#)

■ と

ドライバ・ユーティリティの適用 [ix](#)

■ は

廃棄・譲渡時のデータ消去 [v](#)
著作権 [ii](#)

■ ふ

プレインストールモデルのセットアップ
Windows Server 2012 [13](#)
Windows Server 2012 R2 [10](#)

■ ま

マニュアルの表記
オペレーティングシステムの略称 [vii](#)
システム装置 [vi](#)

[illegible]

日立アドバンストサーバ HA8000 シリーズ

ユーザーズガイド
～ Windows セットアップ編～

HA8000/RS220 AN1/BN1 HA8000/RS210 AN1/BN1

2015 年 4 月～モデル

初 版 2015 年 4 月

第 3 版 2016 年 4 月

無断転載を禁止します。

 **株式会社 日立製作所**
ICT 事業統括本部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

<http://www.hitachi.co.jp>

R2EAN11410-3